

べ"議会だより っかい

第103号

2022年11月

最盛期を迎えた秋鮭漁
(写真撮影：柄木孝志)

特集

別海町の一次産業を支える大切な仕組み ... 2

別海町空家等対策協議会が特定空家等に認定 3

過疎法に基づく固定資産税免除の条例制定を審議（新規条例） ... 4

別海町国民健康保険の現状 5

一般質問（田村、松原、中村、横田の4議員） 6

定例会・臨時会のまとめ 10

議会のうごき 11

シリーズ 町民に聞きました

持続可能な水産業を実現するために ... 12



北海道別海町議会



(写真撮影：柄木孝志)

別海町の一次産業を支える

大切な仕組み

別海町の基幹となっている一次産業は、酪農業であれ水産業であれ、利益を生み出す牛乳や水産物に加えて、必ず副産物を生み出します。

それは、酪農業であれば家畜糞尿であり、堆肥やスラリーとして草地に還元したり、一部地域ではバイオガス発電の原料として再利用されています。

産業建設常任委員会では、酪農業、水産業の副産物の処理について調査を行っています。

今回はこの特集で、水産業から出る副産物の処理に関して調査内容を報告します。

水産業から排出される副産物は、ヒトデなどの商品にならない水揚げと、水産物の加工残さなどがあります。

これらの副産物は、町の施設である水産系副産物再資源

化施設で発酵処理が行われ、肥料原料として再利用されてきました。

平成16年の施設稼働以降、水産系副産物は再資源化がされ、当初は順調に肥料原料として販売されていました。

しかし、ホタテのウロに含まれるカドミウムが肥料成分として規制されたことにより、肥料原料としての価値が低くなり、生産された肥料原料は不良在庫として堆積していきま

した。今後、ホタテのウロを含む肥料原料に関しては販売が見込めないことから、昨年度、本施設でのホタテウロの再資源化を諦め、不良在庫を町が焼却処分することとなりました。

今後は、ホタテのウロは各

事業者が専門業者に処分を委託することとなりましたが、それにより本施設の稼働率が大幅に低下し、運営が苦しくなっている状況です。

これには、ヒトデの受入量が減少したことも影響しています。

令和3年の実績で、収入が約1472万円、歳出が6156万円と大幅な赤字となっており、この補填として、施設を利用している事業者など



水産系副産物再資源化施設を現地調査

産業建設常任委員会の活動報告



別海バイオガス発電施設

からなる協議会から負担金として約4217万円、町が約468万円を負担しています。水産事業者としては、処理費に加えて負担金も支払う2重負担となっています。

今後、ホタテのウロの安価で安定した処理手段の確立、施設運営の抜本的な改革が求められている状況です。

各産業の副産物の適正な処理は、別海町を支える基幹産業の土台として欠かすことのできない事業であるため、今後も委員会として継続して調査を実施していきます。

別海町空家等対策協議会が 特定空家等に認定

空き家対策について

令和3年11月に設置した別海町空家等対策協議会は、周辺の建築物や通行人などに対し悪影響をもたらす恐れから、町内の空き家を令和4年7月特定空家等に認定し、所有者などに対して指導文書を送付しました。

今後、指導文書に従わない場合は、勧告、命令、代執行と進められる予定です。

別海バイオガス発電施設について

令和3年度の実績で、原料受入は、ふん尿1888t/日、利用農家51軒、副資材19・2t/日、発電状況は、年間総発電量5,707,585kWhと売電額は約2億41万円、消化液は、

施設の耐用年数は架台が38年、太陽光パネルが25年となっており、北電とのF-TT契約期間満了後も使用可能ですが、売電価格が約4分の1程度の通常の売電単価となる見込みなので、施設を撤去する方向で計画しています。

69,903t/年、利用農家68軒、敷料は、8603m/年、利用農家15軒となっています。

国営土地改良施設維持管理事業(太陽光発電施設)について

令和3年度の実績で、総発電量1,878.85kWh、売電収入は約6275万円、交付金交付戸数243戸、交付総額約4154万円となっています。

今後の積立計画と使用については、全施設のF-TT契約が満了する令和20年度までに出力制御対応工事、パワーコンディショナーの更新費、太陽光発電施設の撤去費として、累計で4億2500万円積立する計画です。

発電施設の耐用期限が来た後の方向性については、発電



国営太陽光発電施設

物価高騰対策について

新型コロナをはじめとした物価高騰などによる家計・経営者の負担軽減を図るため、水道使用の用途が「家庭用」「業務用」「営農用」「浴場用」の水道料金の基本料金が、令和4年11月から令和5年1月まで全額減免となります。

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 木嶋 悦寛 副委員長 佐藤 初雄 委員 小林 敏之・大内 省吾・横田 保江

過疎法に基づく固定資産税免除の 条例制定を審議（新規条例）

第3回定例会を中心に審議された主な委員会調査および報告内容です。

① 新型コロナウイルス感染症対策

② 町制施行50周年記念式典および友好都市サミットの実施内容について

③ 生涯学習センター落成記念式典について

④ 成人式開催に関するアンケート調査の実施について

⑤ 防災対策の推進について（北海道の総合防災訓練に連動した尾岱沼地区避難訓練について）

⑥ ふるさと応援制度について

⑦ 光ファイバー網整備状況について

⑧ 地域再生法に基づく地域再生法人登録の動きについて

⑨ 令和3年度町税の徴税実績について

第3回定例会の議案のうち 委員会付託された案件

別海町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例の制定について（議案第69号）

この条例は、本年4月に本町が「過疎地域」と指定され、本定例会において制定された「別海町過疎地域持続的発展市町村計画」における産業振興の施策が定められていることから、産業促進区域と振興すべき業種を定め、固定資産税の免除を行うことで、対象となる業種の施設整備や更新を促し、産業振興に役立てることとしています。

対象となる業種は、

- 製造業
 - 旅館業
 - 情報サービス業
 - 農林水産物等販売業
- です。

条例の対象となる事業者の資本金の規模、固定資産税の課税免除の対象となる取得資産の種類、対象となる業種などの資産の取得価格および課税免除の期間については町ホームページからご参照ください。

定例会3日目の本委員会において、全委員出席のもと審議が行われ、同日、委員会として討論・採決を行いました。

慎重な審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議最終日に付託議案の審査結果について報告を行いました。

付託された案件は以上となります。

別海町生涯学習センター 設置及び管理等に関する 条例の一部改正

この条例は本年第1回定例会において本委員会に付託された案件で、委員会において可決すべきとはしましたが、条例において規定が必要な事項および営利行為の禁止について不足する部分があるとして意見が付された案件でした。

委員会への付託はされませんでした。適正な改正内容となっていることをご報告いたします。



プレオープン以来、多くの利用で賑わう「みなくる」

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 今西 和雄 副委員長 外山 浩司 委員 戸田 憲悦・瀧川 榮子・宮越 正人

別海町国民健康保険の現状

国民健康保険は、平成30年度より財政運営の責任主体が別海町から北海道に変更となりました。

これにより、北海道が安定的な財政運営・効率的な事業運営などの中心的役割を果たしていく広域化がスタートし、今日に至っています。

本町は所得水準が安定しており、合わせて医療費が低く抑えられているので、広域化により負担割合が高くなって

います。

しかし現状は、本町の国民健康保険税だけでは、道へ納める負担金を賄えておらず、当初積み立てた基金を取り崩して差額を補い、納めています。

所管より、以上の現状説明がありました。

今後とも安定的な国民健康保険の財政運営・事業運営が行われるよう、説明から見えてくる課題について継続して調査を行っていきます。

病児保育の状況

病児保育事業取組の実施意向を示す事業者と協議し、事業に必要な施設改修工事の完了後、順次手続きを行っていきます。

現時点では、具体的な病児

保育開始時期は未定です。

病児保育を利用するにあたり、事前登録制・送迎対応など、より細かな内容については具体的に動き出してから、調査していきます。

新型コロナウイルスワクチン接種状況

4回目のワクチン接種（9月末で終了）は、今までの経験を生かしながら進められています。

ワクチンの種類や年齢による接種回数の違い、基礎疾患のある人への接種など、仕組み事態も複雑になってきており、誤りのないよう確認を徹底して実施しています。

ワクチン接種は、4回目も町立別海病院を会場に実施されています。

病院全体の業務量も増えており、医師に限らず病院職員・役場職員全体で業務対応に当たっています。

医師不足の解消・安定した

病院経営の継続は、病院をよりどころとする町民にとって大きな願いです。

今後、オミクロン株対応ワクチン接種の情報もあり、合わせて医師の確保状況・病院経営状況など継続調査を行います。

西春別駅前歯科診療所の診療再開

令和2年8月から休診中の西春別駅前歯科診療所の診療が9月から再開しました。神奈川歯科大学から来られた、川股亮太先生が診療に当たられます。



診療が再開した西春別駅前歯科診療所



議員4人による一般質問

質問 公共施設跡地利用の基本的な考え方は



田村秀男議員

質問 中央小学校前の旧公営住宅跡地、旧教員住宅跡地は解体撤去が行われ整地されたまま遊休地になっているが、再利用は。

答弁 中央小学校の老朽化が進み、本年改修に向けた基本構想の策定と方向性の内容を詰めている。

改修の方向性が定まってから検討する。

質問 旧病院跡地は、解体撤去が済み遊休地となっている。

周辺の旧公民館と旧保健センターは、本年度解体撤去の

回答の要約

構想はない。今後、公共的な利用が民間事業用地や住宅用地として処分可能かどうかなどを「基本的な考え方」の柱として進める。

実施設計が計画されているが、旧公民館敷地には「別海市街開基の碑」が立っている。

公民館通りの桜の街路樹もなくなり、町づくりの視点、景観づくりの視点、街路樹を利用する視点など総合的な再利用の構想が必要では。



解体予定地にある「別海市街開基の碑」

答弁 ご指摘のとおり、視覚的にも魅力的なまちを形成し、にぎわいの創出などにもつなげる景観施策にも十分配慮し、進める必要がある。

今後の構想においては、保健福祉ゾーンとしての活用が優先されるものと考えている。

質問 第7次総合計画では、未利用町有地の宅地分譲を令和10年までに20区画目標にしているが、実績は。

また、本町は4月から過疎地域に指定されたが、人口減少対策として子育て世帯や移住定住希望者などに住宅建設を条件に無償で分譲する考えは。

答弁 別海地区の検討を進めてきたが、分譲の実績はない。

また、町有地の無償分譲は、民有地取引の活性化を阻害し、不動産取引の市場価格に悪影響を及ぼす懸念があり、現在のところ考えていない。



空洞化し、遊休地になっている旧病院跡地

質問 町民の財産である公共施設跡地の利活用には、早急に「別海町公共施設跡地利用計画」の策定を提言するが、いかがか。

答弁 あらゆる視点を視野に入れ、庁内関係部署できちんとした議論を交わし、目標を見据えることから確実に取り組んでいく。

町民の財産である公共施設跡地の利活用に最善策を！



詳細はこちらからご覧になれます

議員4人による一般質問



昭和後半に設置された突堤消波ブロック
※写真左（岸側）は水没している状況

質問 海岸浸食を防止するための対策などについて、平成22年第1回定例会において町の考え方を聞き、その際、特に西別川河口から風蓮湖湖口までの間、効果が見込まれ



松原政勝議員

質問 海岸浸食を防止するための保全対策における町の対応は

回答の要約

別海町の海岸をしっかりと守る活動を今後とも続けていく。

る離岸堤の設置も含めた対策工法などについて提案したが、道が調査中との事で調査後どのような保全対策が協議されたのか。

答弁 北海道において平成21年から22年3月まで3回の北海道海岸浸食対策検討委員会が開催されている。

北海道全域の海岸を対象として検討が行われ、防護をする箇所が最優先となり、環境利用面を従前以上に重視した選定を行うと報告があった。

質問 別海町の海岸浸食は年々被害が進み、サケ定置陸



西別川南側に設置された並行消波ブロック
※満潮時は機能が大きく低下している状況

上施設は高潮による被害を受け、施設を放棄せざるを得ない状況である。

また、野付半島では波による道道の決壊、土砂の流出による水道管の露出など、年々その被害の状況が深刻になっている。

早急に海岸浸食を防止する保全対策が急務と考える。漁業生産活動や住民生活など町民への影響が心配されるが。

答弁 主要懸案要望として、野付崎から風蓮湖湖口までの護岸や消波堤など、保全対策を道へ要望している。

質問 これまでも、漁協、地域の町内会から保全対策の要望・要請が上がっていると思う。

町として、要請を受け、道と協議した内容を、要請をした団体などに報告・説明されたか。

答弁 要請に対しての国や道からの回答について報告はしていない。

質問 海岸浸食は防止対策が遅れることによって、産業生活道路に被害が及び、集落が孤立する懸念がある。町長の考えは。

答弁 従来から、海岸保全については、社会資本整備要望や主要懸案要望の中でも重点事項として要請を行っている。

今後も引き続き、国や道に対して粘り強く要請を行っていく。



議員4人による一般質問

質問 補聴器購入助成など 加齢性難聴に対策を



中村忠士議員

質問

65〜74歳で3分の1、75歳以上で約半数が軽中等度を含め、難聴に悩んでいるという統計がある。

難聴があると認知症の度合いが高くなり、補聴器をうまく使えば認知機能の低下を抑制できる可能性があることが最近の研究で分かってきた。高齢者の難聴について調査を行っているか。

答弁

調査は行っていないが、相談窓口で難聴に関する相談などを受けている。

今後、高齢者の介護予防や健康づくりの推進の参考にするため、福祉計画策定時に行

回答の要約

ニーズ調査などを踏まえ判断していく。

うニーズ調査で、高齢者の難聴に関する項目を含めることを検討している。

質問

統計的には、町内で千人を超える高齢者が難聴で悩んでいるかもしれない。

高齢者の健康寿命を高めていくためにも補聴器購入などの助成を実施すべきでは。

答弁

補聴器の適正な使用による高齢者の健康寿命の向上と介護予防の推進を図ることが重要と認識している。

助成制度の必要性については、国の動向やニーズ調査を踏まえ判断していく。

本町における「食育」の推進について

質問

昨年の3月定例会で「食育」について質問した。その際、「令和4年5月までにアンケートを行う」「令和5年1月までにパブリックコメントを実施する」という答弁だったが、進捗状況はどうか。

答弁

アンケート作成の着手が遅れたことや、ウェブでの回答を可能とする作業に時

質問

議会という正式な場面で答弁している内容である。緊張感をもって取り組んでいただきたい。

すでに余裕のあるスケジュールではなく、精力的かつ効果的に作業を進めていく必要がある。

議会への丁寧な説明も含めてしっかりと進めてほしいと思うが、決意は。

答弁

12月中旬に計画素案を策定し、議会に対して説明をさせていただき、その後、パブリックコメントを実施をする。

3月までには新たな計画を公表する。



「食育」の一環、「乳和食」の学習 上春別中学校（別海町ホームページより）





詳細はこちらからご覧になれます

議員4人による一般質問

質問 新型コロナウイルス感染症に 対する経済対策は



横田保江議員

質問 コロナ感染症対策本部会議の開催の判断基準は。

答弁 対策本部会議は、新型コロナウイルス感染症対策本部設置要綱に基づき開催している。

新型コロナウイルス感染症発生時に備えた総合的な対策、住民支援体制の確保、感染拡大の防止などの各事項に関し、町長が必要に応じて本部員を招集し開催している。

その他、感染症対策の推進に必要な情報交換や情報共有などについては、庁内連絡会議または書面会議によっても情報の全体化を図っている。

回答の要約

コロナ感染症発生時に備えた総合的な対策、住民支援体制の確保など、売り上げ減少の事業者への支援の申し込みを受け付けている。

質問 新型コロナウイルス

感染症に対する経済対策について、行政としても状況を把握することが大切だと考えるが、町の現状認識は。

答弁 本町では、新型コロナウイルスの関連倒産はないと認識している。

これも国や北海道に加え、本町の実施してきた各種支援策が功を奏した結果であると考えている。

町内での感染者が急増したことに伴い、町民自らが感染予防を心掛け、自主的に外出自粛している状況にあるが、

消費行動を控えているわけではない。

電子商取引や宅配システムを利用し、在宅での買い物などをするように変化していると分析している。

町内においても、電子商取引をしている事業者が増え、需要が伸びるものと考ええる。

新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、原油価格をはじめ物価自体が高騰している。

事業者の経済活動のみならず、全町民の日常生活にさらに深刻な影響が出ると予想される。

今後の行方も予測を許さない状況であると認識している。

質問 今後、町として経済

対策を検討しているのか、検討していくならどういうプロセスで、どのようなスケジュールなのか。

答弁 これまで町が実施してきた子育て世帯生活支援特

別給付金給付事業や住民税均等割のみ課税世帯臨時応援給付金支給事業。

また、9月定例会で提案の水道料減免分繰出事業、さらに福祉灯油・家計応援助成金給付事業、子育て世帯応援給付金給付事業。

これらについては、北海道による上乗せ事業であったり、町独自の事業である。

道においてコロナ禍による売り上げ減少の影響を受けている事業者への支援の申し込みを受け付けているところであり、周知徹底を図ることが大切だと考えている。



牛乳の消費拡大と町内事業者を応援する事業も行われた

質問を
終えて

スナックなどの事業者の方々は、お客様が足りない聞いています。皆様ヨロシク♥

定例会・臨時会のまとめ

令和4年第3回定例会会議結果報告

別海町過疎地域持続的発展 市町村計画を全会一致で可決

第3回定例会の概要

9月12日に招集され、会期を
9月16日までの5日間に決定。

1日目 9月12日

町長から行政報告、副町長
から提出案件の概要説明など。

町長の行政報告

- 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況および医療体制の状況
- 日米共同訓練、オスプレイを使用した訓練
- 別海駐屯地の定員30名増
- 担い手育成事業（高校生・企業の対話24名12社）など。

議案などの内容説明

- 別海町過疎地域持続的発展市町村計画を先議可決
- 各会計補正予算4件を予算決算審査特別委員会に付託
- 条例の制定総務付託
- 条例の一部改正2件

- 人権擁護委員候補者の推薦3件

- 令和3年度決算認定8件を予算決算審査特別委員会に付託

- 別海町固定資産評価審査委員会委員の選任3件

- 別海町教育委員会委員の任命放棄した債権の報告

- 令和3年度決算に基づく別海町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

- 工事請負契約の一部変更に係る専決処分報告3件

議案に関する主な質疑

- 別海町過疎地域持続的発展市町村計画

（中村、今西議員）

- 別海町生涯学習センター設置及び管理等に関する条例の一部改正（田村議員）

2日目 9月13日

- 4名の議員が一般質問。

本会議を休会し、産業建設常任委員会を開催。

3日目 9月14日

本会議を休会し、予算決算審査特別委員会では令和4年度各会計補正予算4件を審議。

予算に関する主な質疑

- ふるさと応援寄附金

（西原議員）

- 地域総合整備資金事業

（田村議員）

- ふるさと応援制度推進事業

（中村、瀧川議員）

総務文教常任委員会を開催。

4日目 9月15日

本会議を休会し、福祉医療常任委員会を開催。

5日目 9月16日

常任委員会付託事件審査結果報告および特別委員会付託事件審査結果報告と各議案の討論・採決が行われ、全会一致で可決。

松壽議員発議による生産資材高騰に関する意見書および戸田議員発議による国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書を原案通り可決。

根室町村議会議長会議員研修会に全議員、福島県国見町議会行政視察受け入れに、戸田議員他6名を議員派遣。

各常任委員会の閉会中の継続調査事件を決定。

第3回臨時議会の概要

7月4日に開催され、光ファイバ整備事業に係る管理運営費、冬季オリンピック北京大会などで活躍した選手に係る表彰関係経費の増額、北海道子育て世帯臨時特別給付金に係る経費の計上の令和4年度一般会計補正予算を可決。

第4回臨時議会の概要

7月25日に開催され、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る令和4年度一般会計補正予算、予定価格5000万円を超える風連1号配水池外1改修工事請負契約の締結、予定価格1500万円を超える高規格救急自動車の取得を可決。

議会のうごき

1 議長、副議長、各議員（委員）の動向について

期 日	内 容	備 考
6月25日	別海町植樹祭 (別海町)	議長 議員 9名
6月26日	釧路駐屯地創立69周年及び第27普通科連隊創隊60周年記念行事 (釧路町)	議長
7月3日	別海駐屯地創立57周年記念行事 (別海町)	正副議長 議員 5名
7月6日～7日	北海道町村議会議長会議員研修会 (札幌市)	議員 6名
7月14日	西銘内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）と 別海町関係者と元島民等との意見交換会 (別海町)	議長
7月28日	斜里町議会産業厚生常任委員会行政視察対応 (別海町)	議長
8月1日	別海町町民栄誉賞及び別海町奨励賞授与式 (別海町)	議長
8月3日～4日	全国市議会議長会基地協議会北海道部会役員会 (帯広市)	議長
8月15日	別海町戦没者追悼式 (別海町)	議長
8月22日～23日	北海道市町村職員退職手当組合議会定例会 (札幌市)	議長
8月31日	根室本線花咲線対策沿線地域連絡協議会総会 (根室市)	議長

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
8月1日	根室北部廃棄物処理広域連合議会臨時会 (中標津町)	関係議員

※議案等の関係資料は、事務局に保管しています。



持続可能な水産業を実現するために

別海町の基幹産業のひとつである水産業の今後について、水産加工業を営む株式会社 丸イ 佐藤海産の伊勢会長にお話を伺いました。



株式会社 丸イ 佐藤海産
会長 伊勢 徹さん

広報委員 本誌の特集(2ページ参照)でも取り上げている、水産系副産物再資源化施設(以下、再資源化施設)の現状についてどうお考えですか。

伊勢さん 水産加工の残さ(商品にならない不利用物)などを、環境に負荷の少ない形で再資源化するために欠かせない施設だと考えています。再資源化施設の立ち上げから関わっていたので、当初の狙い通り順調に運営されていた。時からの状況の変化も理解しています。

広報委員 現在は、ホタテのウロを再資源化施設に持ち込めない状況ですが、どのように処理していますか。

伊勢さん 紋別の業者まで輸送して処理していますが、燃油代高騰などの影響も大きく、運搬・処理費用に苦労しています。なんとか地元で安価で安定的に適正処理できないかと、関連の事業者と苦慮しているところです。

広報委員 再資源化施設の今後についてはどうお考えですか。

伊勢さん 当初は、水揚げの厄介者であったヒトデや、ホタテのウロなどの加工残さを肥料原料として再資源化し、再資源化施設として十分な利益を生み出し、基金の積み立てを行いながら運営できていました。しかし、ホタテのウロが肥料原料として利用しにくくな

り、ヒトデの量にも大きな波があるため、再資源化施設の運営は非常に厳しい状態です。現在は、基金を活用しながらなんとか再資源化施設を維持している状況ですが、早急に抜本的な対応が必要だと感じています。

広報委員 具体的にどのような検討をしていますか。

伊勢さん ホタテのウロの処理問題と再資源化施設の運営と、大きくふたつの課題があります。ホタテのウロに関しては、安定化させた状態での埋め立て処分もありますが、粉末化してエビなどの養殖の飼料として再利用している事例もあります。できるだけ輸送に負担のかからない形で、環境負荷の少ない再資源化を行えばと考えています。再資源化施設については、施設の運営体制の見直しに加えて、ヒトデなど主となる資材が安定していないので、例えば家庭の生ゴミなどを副資材として加えることで安定稼働させられないか、などさまざまなアイデアが出ています。いずれも、水産事業者だけで実現するのは難しいことなので、ノウハウを持った地元の事業者や、役場、議会にも協力していただき、安定した持続可能な水産業を目指していきたいです。

令和4年12月定例会の予定

- 12月12日(月) 10時～
1日目 本会議(議案の説明・質疑など)
- 12月13日(火) 10時～
2日目 本会議(一般質問)
- 12月14日(水) 10時～
3日目 本会議(一般質問)
予算決算審査特別委員会
- 12月15日(木) 10時～
4日目 常任委員会
- 12月16日(金) 10時～
5日目 本会議(議案の討論・採決など)

12月											
				1	2	3					
4	5	6	7	8	9	10					
11	12	13	14	15	16	17					
18	19	20	21	22	23	24					
25	26	27	28	29	30	31					

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

議会の傍聴の際はマスクを持参ください!
議会の会議は、誰でも傍聴することができますが、コロナウィルス感染症対策のため、発熱がなくマスクを持参される方に限っていますのでご了承ください。

【お詫びと訂正】
議会だより102号の5ページ「産業建設常任委員会の活動報告」に誤記がありました。お詫びして、次のとおり訂正いたします。
・2段目1～2行目
(正) 別海「南部」地区
(誤) 別海「北部」地区

「密閉空間」「密集場所」「密接場面」3つの「密」を避けましょう!